



桜の花も咲き始め、いよいよ春本番ですね。また新しい出会いが待っています！



「しんちゃんちのブドウ」



4月末。家庭訪問でしんちゃんちを訪ねた。しんちゃんちの裏には、ブドウ畑が広がっていた。聞けば、しんちゃんのおじいちゃんが育ててあるという。家庭訪問のついでにブドウ畑へ。ついでにおじいちゃんから話を聞いた。今までに、大きく実った巨峰を何度も見たことはあった。しかし、巨峰の花をまじまじと見るのは初めてだった。感動!! その後、巨峰の摘蕾や摘果などの作業の話に聞き入ってしまった。すごい!! 大牟田では「みかん作り」の社会科学習で摘果について学んできたが、巨峰の摘蕾や房の中の一粒一粒の摘果などは、さらに気の遠くなる作業である。「仕事が大変で、もう今年で止めようかと思ったりします。」との話に、2年生の子どもたちにこのブドウとの出会いをさせたいとの思いが膨らんだ。どう出会わせるかは、担任のうでの見せどころ。最近、「カリキュラム・マネジメント」と言われるらしいが、これはまさに組合の教育運動の原点でもある。生活科「町のすてきを見つけよ

う」の春・夏・秋のバージョンの町探検に組み込んでいった。学校からも近く、何より「すてきな人・もの・こと」と出会える。

はじめは、花。摘蕾の後は、袋がけ。中の様子が見えるように工夫された袋に名前を書いて丁寧に袋がけする。夏の暑い日に長袖・長ズボンでの作業は大変である。鳥を追い払う工夫。水やりの工夫。世話の一つひとつをインタビューする。夏休みの終わりには、収穫を迎えた。丁寧にハサミを入れる。そのころには、このクラスの人気の果物 NO1はブドウになっていた。あまりのおいしさに、家族でしんちゃんちまでブドウを買い求める家族もいた。「しんちゃんのおじいちゃんみたいに、ブドウを育てる仕事をしたい。」と感想を書く子もいた。

しんちゃんは、おじいちゃんに仕事のことをいろいろ尋ね、作文に書き上げた。そして「ありがとうの手紙」にそのことを書いて届けた。2月の学習発表会でも、しんちゃんちのブドウが登場した。「あと少し、ブドウの仕事を続けます。」とおじいちゃん。病気を抱えたしんちゃんのお母さんも心なしか元気になった。しんちゃんのおじいちゃんへの眼差しが変わり、家族のつながりも深まった。

「しんちゃんのブドウ」の実践から8年目の夏休み。しんちゃんのお母さんが突然、我が家へ訪ねて来られた。「今

年、新しいブドウを作ったので。どうぞ。」と緑色のブドウを手渡された。やっぱりしんちゃんちのブドウは甘くて最高だった。

新刊本の紹介

「授業を拓く第68集 あなたの平和授業を創るために～福岡県平和学習フィールドワークガイドブック～」



戦争と平和と人権を考える「場所」を巡る福岡県内12のコースを掲載。フィールドワークで実際にそこに立ち、感じたことを子どもたちに伝えよう、子どもたちと共有しあおう。あなた自身の平和授業を創るための一冊です。

定価 ¥1000 のところ **総研ライン登録の方は ¥800**

申し込みは市教組・支部へ。チャット返信でも可。その場合、お名前・市教組支部名・学校名を書いてください。支払い時に下のクーポンを示してください。


200円 OFF
クーポン

教育総研ラインともだち特典クーポン

「**授業を拓く第68集 あなたの平和授業を創るために**」 **¥800**

1回限り有効(2024/4/1-2025/3/31)